

まちづくりに関する 町民アンケートの結果を お知らせします。

～あなたの声をまちづくりに～

町では、毎年3月に18歳以上の町民から600人を無作為に抽出して「まちづくりに関するアンケート調査」を実施しています。

回答いただいた町民249人（回収率41.5%）の皆さんから、まちづくりに対する意見や要望が寄せられていますので、その一部を回答と併せて紹介します。

皆さんから寄せられた貴重なご意見は、今後の施策展開に活かし、より良い行政運営に努めます。

皆さんから寄せられた意見の一部を紹介します

野焼き

Q 毎年、秋になると稲刈り後の野焼きの匂いが家の中に入ります。野焼きは許される行為なのでしょうか？

大変、苦痛です。とても、環境に良いこととは思えません。

（40歳代男性）

A 野焼きは法律で禁止されている行為です。例外として農業林業または漁業を営むためにやむを得ないものとして行われる焼却は認められています。

ただし、周囲の迷惑となる場合は、行政指導の対象となることから、関係機関と連携し再度周知を徹底します。

ので役場からの啓発や、注意を積極的に行ってほしいです。

（50歳代男性）

A 排雪は、始めにダンプの運搬経路を確保する必要があります。ため、幹線道路から始め、その後生活道路を進めることとなります。排雪経路の関係から順番が後半になってしまいう路線については、ご理解をお願いします。

また、除雪マナーについては、毎年、町広報誌に掲載して啓発に努めており、悪質な場合は直接注意も行っていきますが万全ではありません。

除排雪はお互いの協力と思いやりが大切ですので、町内会を通じての啓発などご協力をお願いします。



排雪の状況

除排雪

Q 排雪はタイミングが大事で、排雪してほしいときに排雪してもらいたいです。

また、大きな道路から行い、住宅地の生活道路は随分後になります。これはむしろ反対で細い道こそ困っています。

道路に雪を出す人も多く、近所同士では注意しにくいものである

乗合ワゴン

Q 乗合タクシー・ワゴンについて、病院の予約時間や帰宅時間に合わないため、なかなか利用出来ないです。1時間ごとの予約制にしてほしいです。

（30歳代女性）

A 乗合タクシーやワゴンは、以前運行していた中央バスの代替運行としてスタートしたもので、運行時刻や便数は中央バスの運行内容を基に設定しています。便数を増やすことは経費と利用者数の関係から難しい面もありますが、運行時刻については、今後、利便性が高まるような時間帯を検討します。

得きつずカード

Q 年1回やっていた「得きつずカード」の5倍デーが無くなったのが、とても残念です。

（30歳代女性）

A 商工会のポイントカード会で「ポイント5倍デー」は無くなりましたが、「毎月29日はポイント3倍」など独自の特典を行っているお店もありますので、お店でご確認の上ぜひご利用ください。

介護予防

Q 年々高齢者が増え続けています。介護サービス、医療受診体制の充実や健康の増進など、これからもしっかりと願っています。

（60歳代男性）

A 人口は減少していますが高齢者数は増えていますので、需要を推計し、必要量に対してサービスが適切に提供できるように体制の充実を図ります。

また、医療と介護の連動、介護予防の充実による健康推進に力を入れることで、住み良い町づくりに努めます。

道路側溝

Q 国道275号大和地区に住んでいますが、街路樹のプラタナスの葉っぱが大量に家のそばの排水に落ちて困ります。隣までトラフになっているのに、我が家からなっていないので掃除できません。そういう苦情はどこへ行けばいいかわかりません。

（60歳代女性）

A 国道のトラフは国で整備や管理を行なっています。大和地区の側溝整備は、毎年国に要望していますが、国も予算の制約があり、なかなかトラフ化が進まない状況です。



国道275号（大和区）のトラフ化されている側溝

定住対策

Q 町外から転入してくる人へ空き家を紹介する情報提供サイトがあると良いと思います。私が新十津川町に居住してから、人口が1500人減少しています。人口減への対策が必要だと思っています。

（50歳代女性）

A 人口減少の対策として、本年度から町内で新築住宅や中古住宅を取得した方に助成金を交付する事業を始めました。

また、町ホームページに、空き家・空き地・アパート情報サイトを開設しました。

現在、登録物件はありませんが、今後充実を図り、定住の促進と地域の活性化に努めます。詳しくは町ホームページをご覧ください。



乗合ワゴン

ワクチンの接種

Q ワクチンの接種について、そのメリット、デメリットをきちんと説明するようお願いしています。(60歳代男性)

A 町では、赤ちゃん訪問時に予防接種のパンフレットを渡し説明しています。

また、乳幼児健診時や健康教室などでも効果や注意事項をお知らせしています。
今後対象者や接種時期に応じて広報などで周知に努めます。

農業者の育成

Q 本町の基幹産業の農業も農業以外からの参入者などを受け入れていかないと農業の担い手が不足します。(50歳代女性)

A 平成24年度にJAピンネと町で設立した「ピンネ農業公社」が新規参入者、新規学卒者、Uターン者などが就農しやすいように各種支援策を講じています。

町内外で就農希望者の相談に応じながら、新規参入者などの増加に努めます。

有害鳥獣駆除

Q シカ・アライグマなどの捕獲をもっと行ってほしいです。(60歳代女性)

A エゾシカ・アライグマについては、道内全域で個体数の増加が問題視されています。

エゾシカについては、狩猟用くりわな150台を購入し、狩猟免許(わな猟)保持者35人に貸出しするとともに、猟友会の協力を得て平成24年度40頭、25年度84頭を駆除しています。

アライグマについては、町所有の捕獲用の箱わなを貸出しするとともに、昨年度は箱わなの購入助成を行い、平成24年度12匹、25年度23匹を駆除しています。

農業被害を防止するため、今後も有害鳥獣の駆除対策に取り組めます。



アライグマの箱わな

Q 年寄りを楽しめるものが他にもあればと思います。(60歳代女性)

A 町では、毎年60歳以上の方を対象にしたシニアいきいきクラブを開催しており、昨年はお菓子づくり教室や太極拳を、今年はお夜のカラオケ教室や和紙・千代紙細工教室などを行います。

また、定期的に活動する団体としてゆめりあ部会があり、卓球、ヨガ、フラダンス、コーラス、大正琴、木好クラブなどが行われており、町はその活動をサポートしています。

なお、今年は新規の生涯スポーツ推進事業として、フィットネスなどの5つの事業を開催します。興味のある方は教育委員会までお問い合わせください。



シニアいきいきクラブ 太極拳

文化スポーツ

Q 文化やスポーツについて、もっと活動できる新規のものも検討していると思いますが、お



トマトケチャップ



トマトジャム

観光資源

Q 町の農産物で作る漬物、味噌などもっとアピールできる商品があればよいと思います。

A くら館のものを本州の人に送ることがあるのでお米のクッキーなどあればいいと思います。(30歳代女性)

A 現在、町内の農産物を材料とする商品開発を総合振興公社(くじら館)で取り組んでおり、近年では、地元で生産されたミニトマトを加工し「ミニトマトケチャップ」「ミニトマトジャム」を商品化して販売しています。今後、も地元農産物を材料とする商品開発に取り組んでいきます。

徳富ダム

Q 徳富ダムの耐震性と万が一の決壊時の被害予想、安全対策が見えない。不安である。(70歳以上男性)

A 徳富ダムは、供用期間(耐用年数は100年以上とされています)中に想定しうる最大級の地震(例えば東日本大震災クラスの地震)が発生しても決壊などの致命的な損傷が生じない設計で建設されています。

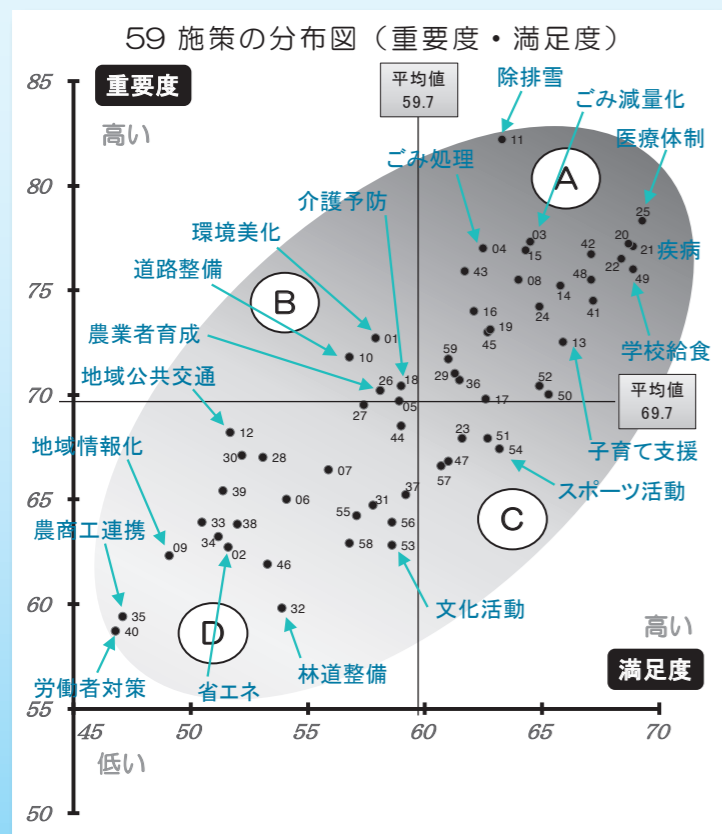
このことから、決壊を想定した対策は講じておりませんが、ダムは北海道により定期的に点検されており、ダム周辺で震度4以上の地震が観測されたときには、臨時にダムの挙動と状態を計測・監視して安全確認を行います。

防犯灯

Q 街路灯・防犯灯は少しずつでも増やしてほしいです。(40歳代男性)

A 市街地の国道275号の街路灯については、3年計画で今年度まで、LEDに更新することとしています。

アンケート結果から59施策の重要度・満足度の分布図を作成し、分析・評価します。



町ではまちづくり基本条例に基づき、まちづくりの基本構想となる総合計画を策定し、町の目指す将来像とその実現に向けた6つのまちづくりの目標を設定しています。

その目標を達成するための具体的な手段として59の施策に分類して事業を行っており、アンケートでは、その施策に関する重要度と満足度について、5段階評価をしていただきました。

左のグラフは、施策の重要度と満足度を点数化して分布図を作成し、各平均値からA B C Dの4つの区分に分けたもので、重要度も満足度も高いAゾーン。重要度は高いが、満足度が低いBゾーンなどそれぞれ分析し、行政評価により町の取組みに活かします。

本アンケートの詳細は、町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。